

さくらんぼ「佐藤錦」及び「紅秀峰」における 高温障害果が発生しやすい気温条件

山形県農業総合研究センター園芸農業研究所

研究のねらい

令和6年産のさくらんぼでは、収穫期が高温になり、高温障害果（図1）が多発した。そこで、過去20年のさくらんぼ収穫期における高温障害果の発生年の気象を解析し、高温障害果が発生しやすい気象条件を明らかにした。

研究の成果

- ① 「佐藤錦」及び「紅秀峰」の高温障害果の発生は、収穫始期以降の気温が密接に関係しており、収穫始期から最高気温30℃以上の累積日数が4日以上、連続日数が3日以上になると高温障害果が発生しやすい（図2、表1）。
- ② 高温障害果が発生する年は、収穫始期から7日間の日平均気温積算値が概ね160℃以上、日最高気温積算値が概ね200℃以上になる（図3（日平均気温積算値はデータ省略））。



図1 高温の影響で果皮が萎凋した「佐藤錦」

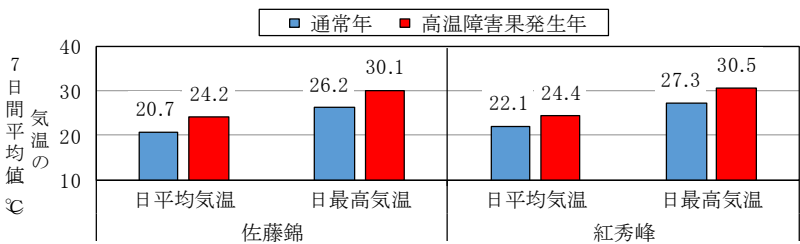


図2 高温障害果発生年と通常年における収穫始期から7日間の気温の比較

※H17～R6の20か年データ（気象：アメダス山形、収穫期：園芸研）

高温障害果発生年は「佐藤錦」がH17・H22・R6の3か年、「紅秀峰」がH21・H22・R4・R6の4か年

表1 「佐藤錦」及び「紅秀峰」の収穫始期後7日間における最高気温の状況（気象：アメダス山形、収穫期：園芸研）

品種	項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
佐藤錦	高温障害果発生年	◆					◆														◆
	30℃以上の日数	6	1	2	1	0	4	2	0	2	0	2	2	2	0	0	0	0	2	2	5
	30℃以上連続日数	6	1	2	1	0	4	2	0	2	0	1	2	1	0	0	0	0	2	2	5
紅秀峰	高温障害果発生年					◆	◆												◆		◆
	30℃以上の日数	1	1	0	2	5	5	5	1	1	1	0	0	2	2	1	0	1	4	0	4
	30℃以上連続日数	1	1	0	1	5	4	5	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	3	0	4

※ 赤字は3日以上

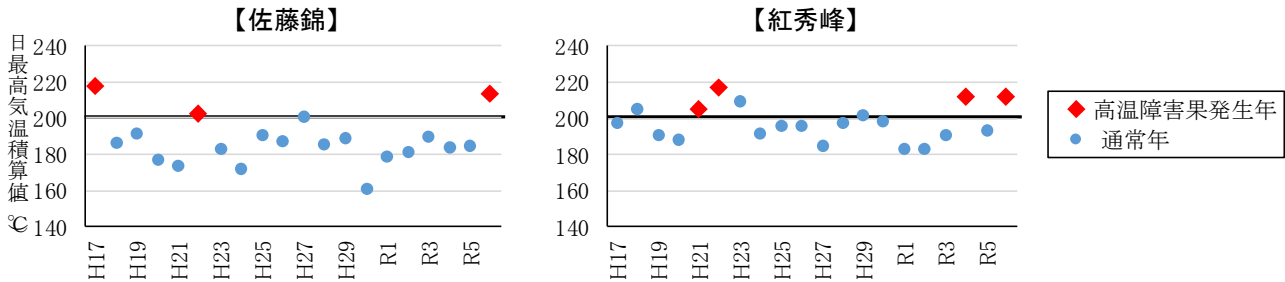


図3 収穫始期から7日間の日最高気温積算値（アメダス山形）

問い合わせ先：果樹部 TEL：0237-84-4125 e-mail：yenken@pref.yamagata.jp